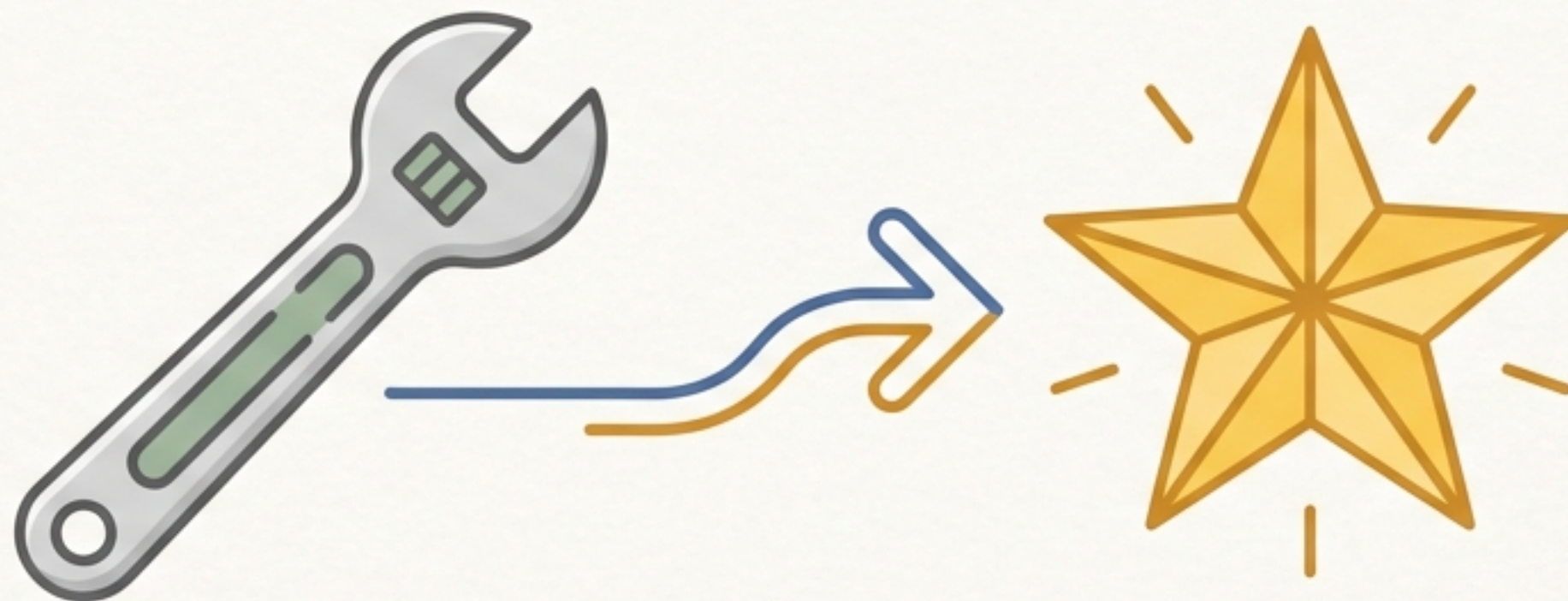


物の『価値』と『使い方』を話そう

文法：～のに（用途・評価）



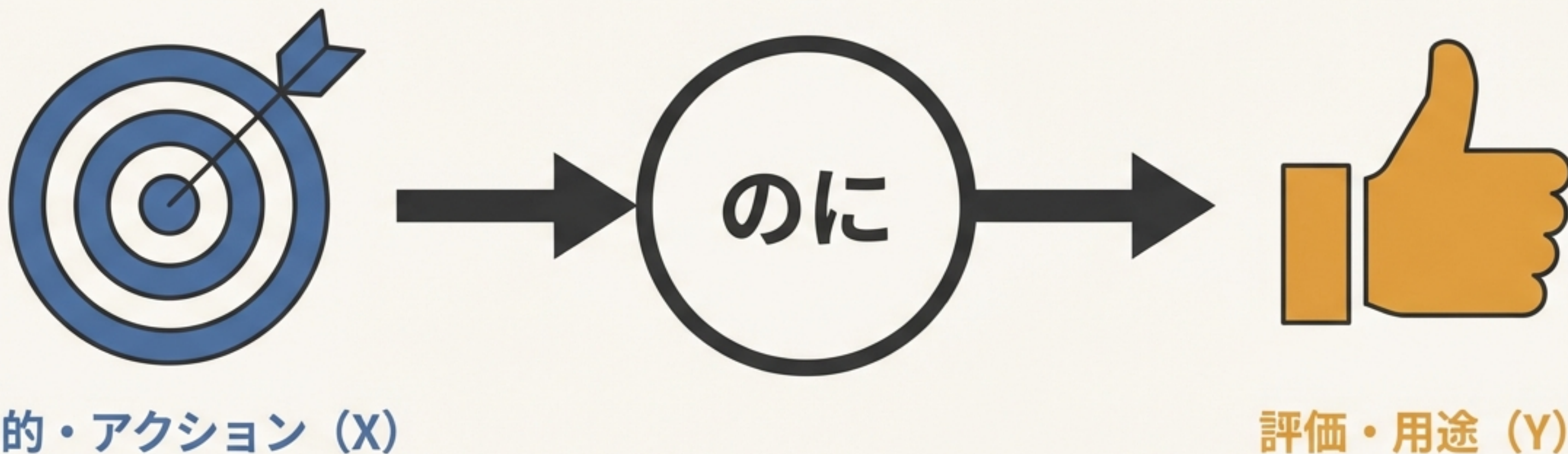
この記事では、道具の目的や、ある行動に対する評価を説明する『～のに』の使い方を学びます。『逆接（even though）』の『のに』ではありません。



このかばんは**運ぶのに**いいです。

どんな目的で使うか？それは便利か？『～**のに**』を使えば、物の『**用途**』と『**評価**』を一度に伝えることができます。

意味：目的と評価をつなぐ



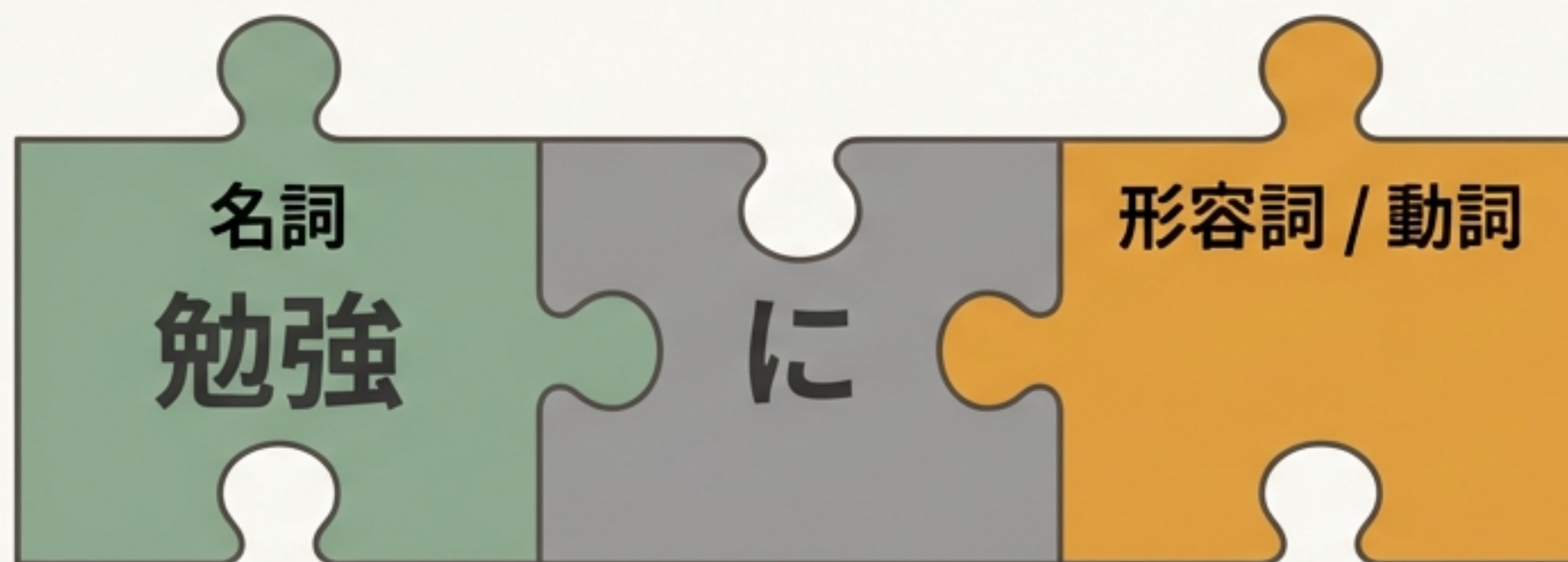
ある目的 (X) のために、その物 (Y) が『いい』『便利』『必要』であることを表します。

Action (V) + のに + Evaluation (Adj/V)

形（フォーム）



『の』は動詞を名詞にする働きがあります（形式名詞）。



パターン①：評価する（いい・便利・役に立つ）

よく使う言葉：
いい、便利、
不便、
役に立つ



このアプリは星を**識別**するのに**便利**です。



この靴は山を**歩く**のに**いい**です。



ドラマは日本語の**勉強**をするのに**役に立ち**ます。

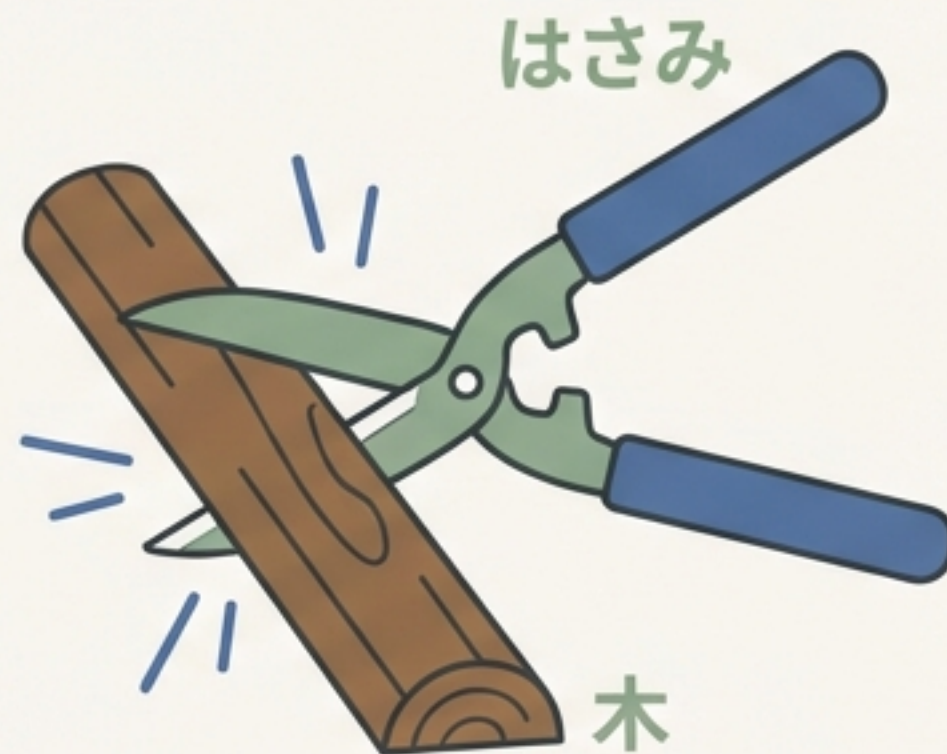
パターン②：用途を説明する（～に使います）



ミキサーは材料を混ぜるのに使います。



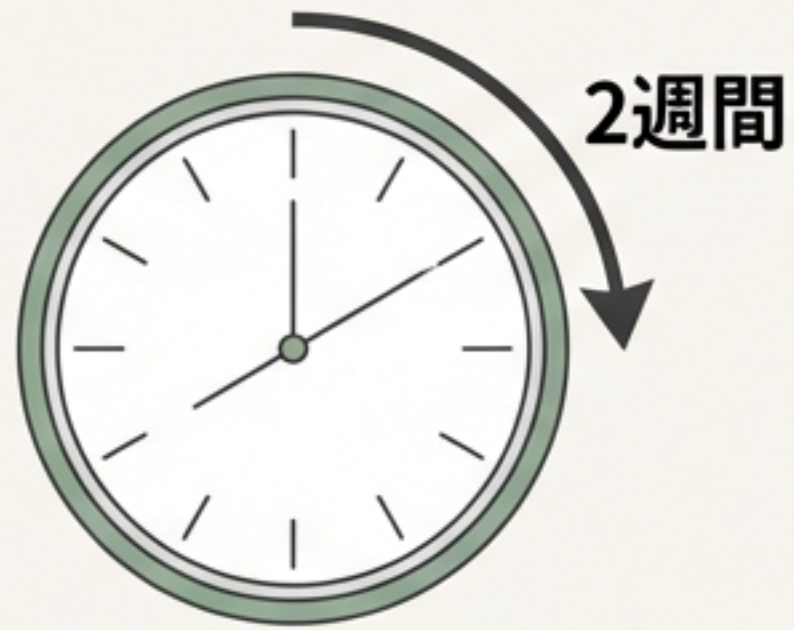
フォークは肉を食べるのに使います。



このはさみは木を切るのに使います。

道具の使い道を説明するときに便利です。

パターン③：必要な時間・お金・もの



この時計を直すのに
2週間かかります。



家を建てるのに
8000万円必要です。



足を冷やすのに、
濡れたタオルが必要ですよ。

文法メモ：数量（数字）の後ろに助詞の『が』は言わなくてもいいです。（例：2週間かかります）

シチュエーション：デジタルライフ

このVRゴーグルは歴史的な場면을**体験する**のに使います。



このドローンは救助活動を**支援する**のに**いい**です。

スマホは連絡を**とる**のに**便利**です。

シチュエーション：生活と旅行

この町は子育てを
するのにいいです。



このアパートは
会社に通うのに
不便です。

外国を旅行
するのに
パスポートが
必要要です。

比較：『～ために』 vs 『～のに』

～ために



強い意志・目標

日本で働くために、日本語を勉強します。

～のに



物の用途・評価

この本は勉強するのにいいです。

『のに』の後ろは、形容詞（いい・便利）や特定の動詞（使う・かかる）が来ることが多いです。

よくある間違いチェック

✕ 食べるに便利です。

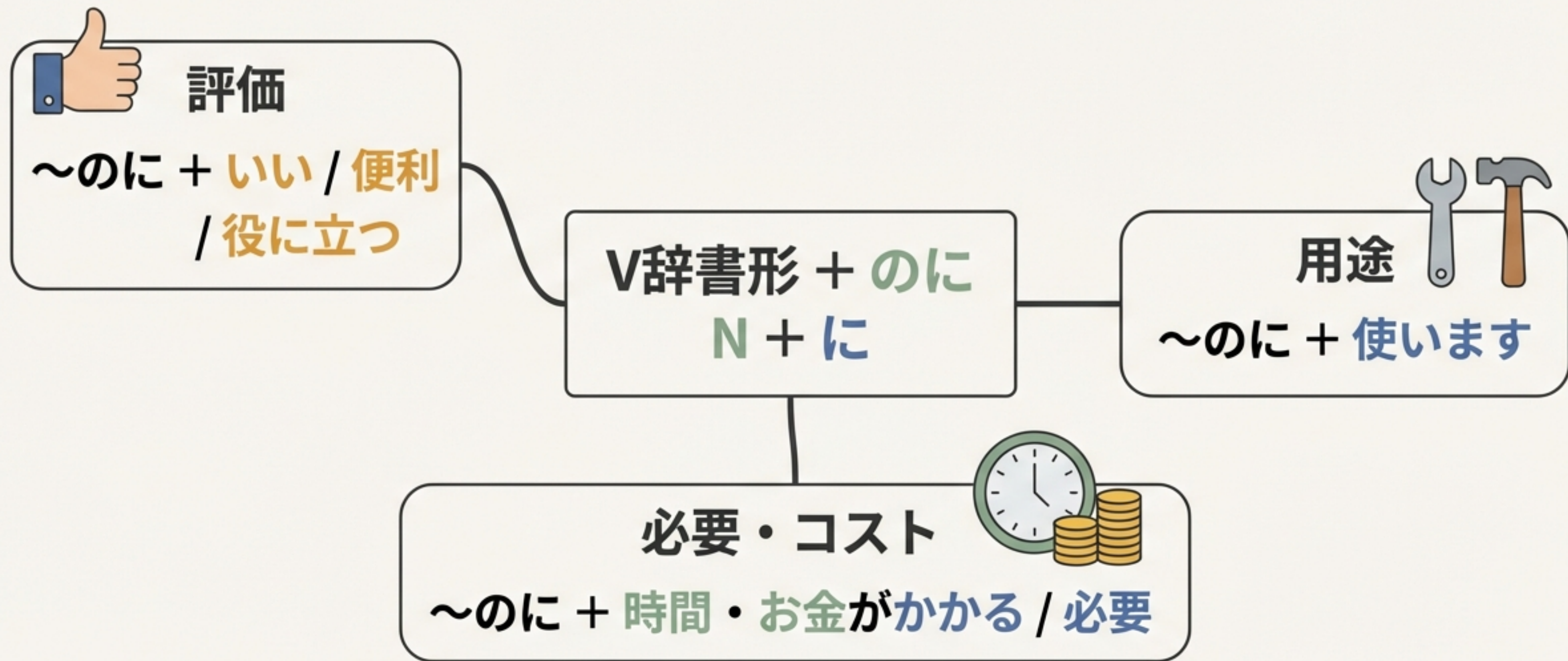
✕ 散歩のにいいです。

○ 食べるのに便利です。

○ 散歩にいいです。

動詞には『の』が必要ですが、名詞には『の』を付けません。

まとめ：～のに



基本概念：『～という目的のために』

あなたの周りのものは？



あなたの近くにある道具を見てみましょう。それは何をするのに使いますか？

これは_____の便利です

これは_____の使います

ぜひ、今日から使ってみてください。